

# 東アジアプロ野球球団のビジネス変化： NPB, KBO, CPBL に着目して

明 世熙<sup>1)</sup>

## Business Changes in East Asian Professional Baseball Teams: A Focus on NPB, KBO, and CPBL

Sehee MYOUNG

Key words : Professional Sports, Sports Tourism, Entertainment

キーワード：プロスポーツ，スポーツツーリズム，エンターテインメント

### 1. 東アジアのプロ野球の成長の背景

2020 東京オリンピック大会、World Baseball Classic (WBC) での日本代表チームの優勝をはじめ、2022 杭州アジア大会では韓国代表チームが優勝を、台湾代表チームは準優勝をし、各地域での野球へ関心は高まってきた。2023 年 12 月 31 日に世界野球ソフトボール連盟 (WBSC) が発表した男子野球の世界ランキングでは、日本が 1 位、韓国が 4 位、台湾が 5 位で東アジアチームが上位を占めている。アジアでも早くから野球を受け入れた日本は、1874 年に米国の教師 Horace Wilson により学校を中心に学生たちへ普及された。最初は大学生のスポーツとしてチームが形成され、1936 年には、日本プロ野球リーグ（以下、「NPB リーグ」と略す）が始まった。同じ時期に韓国と台湾にも野球が伝わり、韓国プロ野球リーグ（以下、「KBO リーグ」と略す）は 1982 年より、台湾プロ野球リーグ（以下、「CPBL リーグ」と略す）は 1990 年より実施された。

NPB リーグは、1950 年よりセントラル・リーグ（以下、「セリーグ」と略す）とパシ

フィック・リーグ（以下、「パリーグ」と略す）の 2 リーグ体制となり全体的に入場者数は右肩上がりが増えてきた。各リーグの公式ホームページによると、NPB の両リーグとも 2019 年度シーズンが歴代最多入場者数を記録したシーズンでありセリーグが 14,867,071 名、パリーグが 11,669,891 名を記録した。KBO リーグの場合、2023 年度に 8,100,326 名が来場し、歴代最多入場者数を記録した 2017 年度の 8,400,688 名に近づいた。CPBL リーグは、1997 年に野球賭博の問題で以降は入場者数が急激したが、その前の 1995 年度の 1,646,361 名が最多入場者数の記録であった。その後、2000 年度より徐々に回復し、2013 年度以降は、新型コロナウイルス（以下、「COVID-19」と略す）流行による制限があったシーズンを除いて 1,200,000 人は超えており、2023 年度には、史上最多の 1,800,130 名まで増加した。

2023 年のシーズンを終えた時点での入場者数は、表 1 の通りとなり各リーグの球団数や球場定員の規模に違いはあるが、COVID-19 収束に伴い、3 リーグとも観客動員数の増加傾向がみられた。

---

1) びわこ成蹊スポーツ大学

表 1 東アジアプロ野球リーグ概要および 2023 年シーズン試合数・入場者数図

	NPB	KBO	CPBL
球団数	12	10	5
入場者数 (名)	25,070,169	8,100,326	1,800,130
試合数	858	720	300
1 試合平均入場者数 (名)	29,219	11,250	6,000

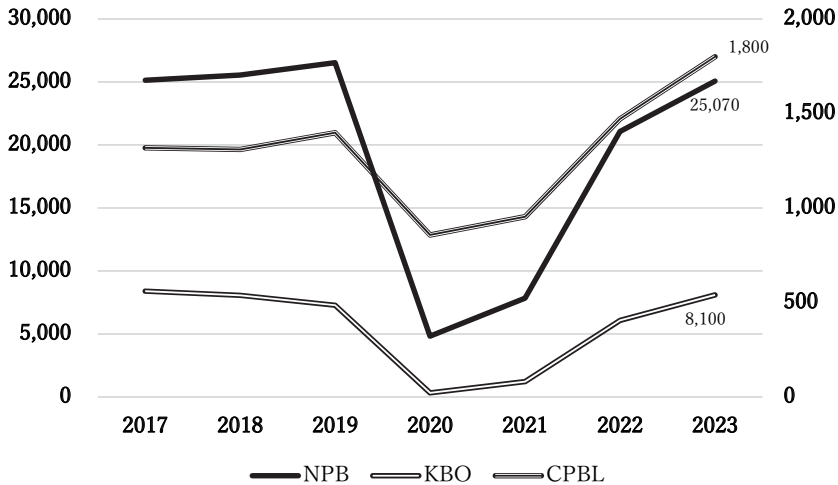


図 1 東アジアプロ野球リーグの近年観客動員数の傾向 (単位：千名)

特に、アジアで最も早くプロ野球リーグが始まった日本の影響を大きく受けた韓国と台湾では、KBO リーグと CPBL リーグの立ち上げにあたり、日本に在住した韓国系および台湾系の野球人が積極的にご協力し、それぞれのリーグが始まった。Hirai (2011) は、1980 年から 2000 年の間に東アジアの野球が最も国際化されたとし、日韓台の野球交流活動が活性化しているが、韓国と台湾から日本へと一方的であると指摘している。

世界水準の競技力を誇る東アジア地域のプロ野球は、所属リーグや地域を超えてスプリングキャンプ期間中の交流試合や Asia Winter Baseball League 参加、育成チームの交流試合など継続的な交流を続けている。アメリカのプロ野球リーグのメジャーリーグ (以下、「MLB」と略す) に続く競技レベルやリーグ規模は、COVID-19 の流行により全世界のプ

ロススポーツの開幕が延期となった 2020 年 4 月に世界で最初に開幕したプロ野球リーグであった CPBL が全世界の野球ファンの注目を集めたことに続き 5 月に開幕した KBO がアメリカのスポーツ専門放送局の ESPN と放映権契約を締結しながら KBO 試合が中継され、再び東アジア野球界への関心が高まった。

## II. NPB 観戦をテーマとしたスポーツツーリズム

日本チームの場合、2020 東京オリンピック大会での金メダルや 2023 年のワールドベースボールクラシック (以下、「WBC」と略す) 優勝で、NPB はアジア地域および他の海外エリアからも高い注目を集めている。特に、海外観光地としても人気の高い台湾では自国選手が所属している NPB チームを中

心とした観戦経験が新しいスポーツツーリズムのコンテンツとして人気を集めてきた。実際に2023年WBC台湾代表選手の王柏融の所属チームであったパリーグの北海道日本ハムファイターズ（以下、「ファイターズ」と略す）は、台湾で使われる言語の繁体中文の公式ホームページを運営しながら、台湾向けに球団情報を含む情報提供を行っていた。

同じパリーグ球団であり、九州地域の代表的な観光都市でもある福岡県を本拠地とする福岡ソフトバンクホークス（以下、「ホークス」と略す）は、2019年シーズン開幕より訪日外国人観光客専用シートであるHELLO SEATを販売している。日本国内の野球ファンに好まれない外野のレフトエリアを活用して、お土産付きで他の座席より安くNPB観戦ができるチケットが企画されている。2023年12月22日に発表された国土交通省九州運輸局の統計資料では、COVID-19流行前後で最も入国者数が多かったのは韓国人となっているが、2023年シーズンでは、韓国人を対象に韓国の国内旅行社と連携した試合観戦チケットを販売し、その他地域の外国人観光客に向けて、チケット購入における決済ストレスを解消できるよう、オンライン旅行会社（OTA）サイトのKLOOK経由で購入ができる環境が整備された。

### Ⅲ. NPBの新しい球場ビジネス

前述のファイターズとホークスの本拠地である北海道と福岡県は、2023年12月に観光庁が発表した外国人延べ宿泊者数の統計資料でも東京都、大阪府、京都府に続く地方都市の中でも人気地域であり、ホーム球場のドーム以外にも外国人観光客向けのエンターテインメントコンテンツが含まれた球団直営の施設を運営しながら、オフシーズンと来客が少ない平日の昼間時間での売上創出に工夫を続けている。2023年シーズンより営業を開始したファイターズのホーム球場であるエスコフィールドHOKKAIDOとその一帯エリ

アの北海道ボールパークFビレッジは、世界初の球場内温泉およびサウナ施設、クラフトビール醸造施設が揃っているレストランを運営中であり、その他にもホテルおよびボールパーク内のマンション、託児所など単なるスポーツ施設を越えるエンターテインメントとライフスタイルに合わせた多様なサービスを提供しながら日本国内外の幅広い世代をターゲットとするマーケット開拓を始めている。

ホークスも同じく2020年に福岡PayPayドームに隣接したエンターテインメントビルのE・ZO FUKUOKAを開業しながらプロ野球の試合がない日でも球場を含むそのエリアを楽しめるボールパークを目指している。E・ZO FUKUOKAにはアイドルグループの常設公演会場や博多湾の景色を眺めながら楽しめるアトラクション、建物の壁の真横に設置された巨大滑り台のような体験スペース、アメリカのMLBをテーマした公式MLBカフェを運営しながら福岡を訪れた全世界の野球ファンが楽しめるボールパークコンテンツを運営している。

### Ⅳ. 多様化する 東アジアプロ野球ビジネス

プロ野球専門メディアのFull-Count記事によるとCPBL各球団に所属して活動する球団チアリーダーは台湾内では芸能人のような人気で、チアリーダー応援を目的に海外に遠征するファンもいることが報じられた。CPBLの桃園樂天モンキーズは、同じグループであるNPB東北樂天ゴールデンイーグルスとの共同プロモーションで2023年9月に球団チアリーダーが来日し、特別座席や限定商品を販売した。3日間の特別座席は、ホークスの訪日外国人観光客専用シートである「HELLO SEAT」と同様に外野レフトエリアを活用し、全ての座席が三日間完売された。当日は日本のみならずチアリーダーの本拠地である台湾人や韓国人メンバーのファンであ

る韓国人まで東アジアの野球ファンが集結した様子がみられた。一方、KBOでも猛暑日対策として野球場ではチアリーダーをはじめとする応援団のスタンド向けの水かけパフォーマンスを行い、観戦だけではなくウォーターパークのような遊び体験を提供している。

プロ野球というスポーツに興味を持つ来場者以外にも球場やチアリーダーのような付随するコンテンツで観客動員を強化していく動きは東アジアの各プロ野球リーグで見受けられる。COVID-19流行で大きく変わった日常生活の変化のスピードを考えると、今後同じようなプロ野球コンテンツを目的とする外国人観光客の増加が起きることは予測可能であり、特に東アジア地域の人口変化を考慮するとそのスピードはより加速化されることが考えられる。松岡（2007）は、プロスポーツは、会場で直接もしくはメディアを通して間接的にエンターテインメントとして消費されると説明している。その通り変化していく消費者のエンターテインメントへの欲求に合わせて新しいビジネスを展開していく東アジアの各プロ野球リーグの動きを注目していきたい。

### 参考文献

- Chinese Professional Baseball League (Online) About CPBL, <https://www.cpbl.com.tw/about/fans>, (accessed 2024-01-14).
- ESPN (Online) ESPN to televise Korea Baseball Organization games, [https://www.espn.com/mlb/story/\\_/id/29132165/espn-televise-korea-baseball-organization-games](https://www.espn.com/mlb/story/_/id/29132165/espn-televise-korea-baseball-organization-games), (accessed 2024-01-14).
- Full-Count (Online), 試合で負けても「悲しくない」来日は“推し”のため…日本と異なるアイドル級の扱い, <https://full-count.jp/2023/11/17/post1471296/>, (参照日 2024年1月14日).
- 福岡ソフトバンクホークス (Online) 訪日外国人専用シート「Hello Seats」新設!, <https://www.fighters.co.jp/global/taiwanese/>, (参照日 2024年1月14日).
- Hajime Hirai (2011), GLOCALISATION OF BASEBALL IN JAPAN, KOREA AND TAIWAN, Electronic Proceedings Book, 77-83, The 3th International Society for the Social Sciences of Sport Conference, 2011, Olomouc, Czech Republic.
- 北海道日本ハムファイターズ (Online) 繁体中文, <https://www.softbankhawks.co.jp/news/detail/00002237.html>, (参照日 2024年1月14日).
- Joseph A. Reaves (2004), Taking in a Game: A History of Baseball in Asia (Jerry Malloy Prize), Bison Books.
- 観光庁 (2023) 宿泊旅行統計調査, <https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001713272.pdf>, (参照日 2024年1月14日).
- Korea Baseball Organization (Online) Records and Rankings, <https://www.koreabaseball.com/Record/Crowd/GraphYear.aspx>, (accessed 2024-01-14).
- 国土交通省九州運輸局 (2023) 九州への外国人入国者数の推移について, <https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000313705.pdf>, (参照日 2024年1月14日).
- KT WIZ (Online), [안내] 2023 y 워터페스티벌 프로그램 안내, <https://www.ktwiz.co.kr/media/wiznews/179876?search.page=14>, (accessed 2024-01-14).
- 松岡宏高 (2007) プロスポーツの経営に関する研究の動向. 体育・スポーツ経営学研究, 21: 41-46.
- 日本プロ野球機構 (Online) 統計データ, <https://npb.jp/statistics/>, (参照日 2024年1月14日).
- Rakuten Monkeys (Online), 跨界出撃 活力起航 台灣虎航× Rakuten Monkeys 聯名彩繪二號機今亮相首飛, [https://monkeys.rakuten.com.tw/news\\_detail/721](https://monkeys.rakuten.com.tw/news_detail/721), (accessed 2024-01-14).
- 東北楽天ゴールデンイーグルス (Online),

※イベント内容決定※【9/19（火）～21（木）】 Rakuten Girls がもう一度楽天モバイルパーク宮城にやってくる！, <https://www.rakuteneagles.jp/news/detail/202300406940.html>, (参照日 2024 年 1 月 14 日).

World Baseball Softball Confederation (Online) Baseball season in Taiwan opens

amid COVID-19 as the first in the world, <https://www.wbssc.org/en/news/cpbl-opens-its-2020-season-amid-covid-19-as-the-first-in-the-world>, (accessed 2024-01-14).

World Baseball Softball Confederation (Online) World Ranking, <https://rankings.wbssc.org/list/baseball/men/>, (accessed 2024-01-14).